

2019年度

学生シラバス
(本科・専科学科編)

学校法人 葛谷学園

中和医療専門学校

專科 前期

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	心理学 I	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	石田ユミ	実務経験	無	時間数	30
学修内容	心理学を学ぶことにより、人への深い理解をもつことができるように学習する。				
到達目標	心理学の視点から人について学び、人の発達課題・問題、コミュニケーション技法・治療者としての基本的姿勢がとれる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	オリジナルプリント(レジメ)を配布する。				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	オリエンテーション、心理学を学ぶことの意味、目的				
2	治療者の倫理(ハラスメント)				
3	自分自身を知る				
4	心理療法におけるからだところ				
5	こころの発達 I (人生課題・胎児期)				
6	不妊				
7	こころの発達 II (乳児期・幼児期・学童期)				
8	児童虐待				
9	神経発達障害・不登校・いじめ・引きこもり				
10	コミュニケーション技法 I (基礎・話を聴く)				
11	こころの発達 III (青年期・成人期・老年期)				
12	性的違和(性同一性障害)				
13	食行動障害・摂食障害				
14	神経認知障害・老い・死・看取り				
15	まとめ・テスト前練習問題・解説				

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	保健概論 I	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	丸畑仁美	実務経験	有	時間数	30
学修内容	人体について学び、解剖学や生理学などの専門基礎科目へ発展させることができるように学習する。				
到達目標	人体を構成する名称や部位、そして構造や働きを理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	楽しくわかる生物化学物理、わかる身につく生物生化学分子生物学、人体解剖カラーリングブック『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	化 学	単位・ローマ数字・数を表す接頭語			
2		元素・分子・極性・酸と塩基			
3		糖質・脂質・蛋白質			
4		物質移動			
5	解剖学(骨格系)	脊柱、胸郭			
6					
7					
8		上肢(上肢帯、自由上肢) 関節(肩鎖、肩、肘、手関節、指関節)			
9					
10		下肢(下肢帯、自由下肢) 関節(膝、股関節、足部、指関節)			
11					
12		頭蓋骨、頭頸部			
13					
14	解剖学(筋系)	体幹部 胸腹部の筋			
15		体幹部 背部の筋			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	英語 I	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	諸岡淳子	実務経験	無	時間数	30
学修内容	現代医療の現場では、医療用語を英語で表現することが多く見受けられ、当然、はりきゅうあん摩マッサージ指圧の現場においても例外ではない。医療現場において英語表記されたものを理解できるように学習する。				
到達目標	はりきゅうあん摩マッサージ師に必要な医療英語を日本語から英語、英語から日本にでき、英和・和英ともに医療英語の理解と表現ができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・提出課題・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学で英語を学ぶ』(医歯薬出版株式会社) オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	オリエンテーション				
2	医学用語とは何か				
3	医学用語構成の原則について				
4	合成語の要素の説明				
5	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter5の英文読解				
6	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter5の英文読解				
7	骨の名称及び学術用語の説明				
8	骨の名称及び学術用語の説明				
9	骨の名称及び学術用語の問題				
10	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter8の英文読解				
11	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter8の英文読解				
12	医療で頻出する略語についての学習				
13	基本的な医療英語の単語プリント				
14	前期のまとめ学習				
15	試験対策プリントを渡し、答え合わせ				

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	解剖学 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	古橋一人	実務経験	有	時間数	30
学修内容	人体の細胞・各組織の構造について学習する。また、人体の皮膚・方向・神経系について学習する。				
到達目標	教科書の太文字を中心に理解する。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、学期末試験・出席点・平常点で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 オリジナルプリント				
留意点	国家試験に出題される科目なので要点をしっかりと理解して下さい。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 人体の構造	1. 細胞			
2					
3		2. 組織			
4					
5					
6					
7	第8章 神経系	1. 神経系の構造			
8					
9					
10					
11		2. 中枢神経			
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	解剖学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	佐竹裕孝	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師臨床に必要な人体の構造解剖と機能解剖の知識を習得し、臨床に活用できるように学習する。				
到達目標	内臓の構造と名称が理解できる。 脈管・神経の走行と名称が理解できる。 臓器・神経・脈管の働きが理解できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 オリジナルプリント				
留意点	単元の終了ごとに小テストを実施する。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第2章 循環器系		1. 血管系 2. 心臓 3. 動脈系 4. 静脈系 5. 胎児循環 6. リンパ系		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12	第3章 呼吸器系		1. 鼻腔・副鼻腔 2. 咽頭・喉頭 3. 気管と気管支 4. 肺		
13					
14					
15	第7章 内分泌		1. 下垂体 2. 松果体 3. 甲状腺 4. 上皮小体 5. 副腎 6. 睪臓 7. 性腺		

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	生理学 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	小野健治	実務経験	無	時間数	30
学修内容	組織・器官・内分泌系などがどのように働き、人体に作用しているかを学習する。				
到達目標	人体の細胞・組織・内蔵などの基本な機能と作用、関連性について理解し、また骨・筋・神経から人体の運動器の働きや関連性について理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『生理学』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 生理学の基礎	A. 生理機能の特徴			
2		B. 細胞の構造と機能			
3		C. 物質代謝			
4		D. 体液の組成と働き			
5		E. 物質移動			
6	第10章 神経	A. ニューロンの構造と働き			
7		B. 神経線維の興奮伝導			
8		C. シナプス伝達			
9		D. 中枢神経系の分類と機能			
10		E. 反 射			
11		F. 脊 髄			
12		G. 脳 幹			
13		H. 小 脳			
14		I. 視 床			
15		J. 視床下部			
		K. 大 脳			
		L. 脳脊髄液			
		M. 末梢神経系			
		N. 自律神経系			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	生理学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	60
学修内容	組織・器官・内分泌系などがどのように働き、人体に作用しているかを学習する。				
到達目標	人体の細胞・組織・内蔵などの基本な機能と作用、関連性について理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『生理学』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2	第2章 循環	A. 血液の組成と働き			
3・4		B. 止血			
5・6		C. 線維素溶解			
7・8		D. 血液型			
9・10		E. 心臓血管系 F. 心臓の構造と働き G. 血液循環 H. 循環調節 I. リンパ系			
11・12	第3章 呼吸	A. 呼吸器			
13・14		B. 換気とガス交換			
15・16		C. 呼吸運動とその調節			
17・18	第4章 消化と吸収	A. 消化と吸収			
19・20		B. 消化管			
21・22		C. 消化液 D. 吸収 E. 肝臓の働き F. 摂食の調節			
23・24					
25・26	第5章 代謝	A. 食品と栄養素			
27・28		B. 代謝 C. 各栄養素の働きと代謝			
29・30	第14章 生体の防御機構	A. 生体防御機構 B. 免疫反応の分類			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	東洋医学基礎概論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	川瀬有美子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう師として東洋医学の知識と志を得て、東洋医学臨床論へ繋げ、東洋医学的臨床ができるように学習する。				
到達目標	東洋医学の用語を理解し説明できる。 東洋医学の特徴と考えを理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 東洋医学の特徴	第1節 東洋医学の沿革 第2節 人体の見方 第3節 東洋医学的治療 第4節 日本の東洋医学の現状	I. 東洋医学の歴史 I. 人と自然の統一性 II. 有機的な統一体としての人体 III. 虚実と標本 IV. 個に対する医療” I. 治療論 II. 治療法		
2					
3					
4					
5					
6					
7	第3章 東洋医学の思想	第1節 陰陽学説 第2節 五行学説	I. 陰陽学説の基本内容 II. 東洋医学における 陰陽学説の運用 I. 五行学説の基本内容 II. 東洋医学における 五行学説の運用		
8					
9					
10					
11	第2章 生理と病理	第1節 生体物質と神	I. 生体物質(精・気・血・津液) II. 神 III. 人体における陰陽		
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	経絡経穴概論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	一経一経もしくは一穴一穴の重要性を学び、はり・きゅう臨床で活用できるように学習する。				
到達目標	経絡経穴の名称、属性、取り方、更には解剖学的部位を覚え、経穴名から部位を、部位から経穴名を導き出すことができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・小テスト・定期試験等で行う				
使用テキスト等	『経絡経穴概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 経絡・経穴の基礎	1. 経絡・経穴の誕生 2. 臓腑の概要 3. 経絡の概要 4. 経穴の概要			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10	第2章 経脈・経穴(穴性を含む)	I. 経穴の取り方に必要な用語 1. 解剖学的肢位と方向に関する用語 2. 体表指標 3. 体表区分 4. 別説の経穴部位 II. 十四経脈とその経穴 1. 督脈 2. 任脈 3. 手の太陰肺経 4. 手の陽明大腸経			
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	前期
科目名	生体観察学	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	林芽生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧施術において、体表から適切な各部位の把握ができ、損傷部位の鑑別や施術部位の判断ができる。				
到達目標	体表および局所解剖から骨格・筋の位置と名称を学習する。人体各部位のランドマークや体表の筋肉を正確に触知できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	人体の区分	人体の切断面と方向 人体の区分			
2	上 肢	上肢の骨格、筋、脈管、神経系			
3					
4					
5					
6	下 肢	下肢の骨格、筋、脈管、神経系			
7					
8					
9					
10	体 幹	胸部、腹部、骨盤部の骨格筋、 脈管、神経系			
11					
12					
13	頭頸部	頭部、頸部の骨格、筋、脈管、神経系			
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	運動学 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	中本湖琴	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅうの臨床で必要となる身体の動き・構造を学習する。				
到達目標	人体の筋肉・骨・関節の構造を学び理解し説明できることでリハビリテーションの運動を学ぶ準備ができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、中間試験・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』『リハビリテーション概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] 配付プリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	解剖学第10章 運動器系 10-I. 総論 (解剖学)	1. 骨格系			
2	10-II. 全身の骨格(解剖学)	1. 脊柱 2. 胸郭 3. 上肢の骨格 4. 下肢の骨格 5. 頭蓋骨			
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11	解剖学第10章 運動器系 10-I. 総論 (解剖学)	2. 筋系			
12	A. 運動学の基礎(リハ概)	1. 関節と運動の力学 2. 姿勢とその異常 3. 運動路と感覚路 4. 反射と随意運動			
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	病理学 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	清水洋二	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として、知っておかなければならない疾病を分子レベルから個体レベルまでの変化を学習する。				
到達目標	各疾病の原因や形態、機能、代謝、炎症、腫瘍など生体変化を理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『病理学概論』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 病理学とはどのような学問か				
2	第2章 疾病(病気)についての基本的な考え方	1. 疾病(病気)の概念 2. 疾病(病気)の分類 3. 疾病(病気)の症候(症状)と経過			
3					
4	第3章 病因	1. 病因の一般 2. 内因 3. 外因 4. 小児疾患			
5					
6					
7	第4章 循環障害	1. ヒトの循環系 2. 充血・うっ血 3. 貧血・虚血 4. 出血、5. 血栓症 6. 塞栓症、7. 梗塞 8. 水腫・浮腫・脱水症 9. ショック			
8					
9					
10	第5章 退行性病変	1. 萎 縮 2. 変 性 3. 壊死と死			
11					
12					
13	第6章 進行性病変	1. 肥大と増殖 2. 再 生 3. 化 生 4. 移 植 5. 創傷治癒・組織内異物の処理			
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	臨床医学総論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	加藤由衣	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧臨床に必要な鑑別法や施術に関する知識を学び患者の病態を推測し、対応できるように学習する。				
到達目標	患者から得られる、問診・身体診察・症状・所見などの評価を理解し、どこにどのような病態が生じているかを判断できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『臨床医学総論』[医歯薬出版株式会社] オリジナルプリント				
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の基礎(解剖学・生理学)がもとになるので、復習が大切です。 ・関連科目は、臨床医学各論、病理学等です。 				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 診察の概要	1. 診察の意義			
2		2. 診察の一般的心得 3. 関連用語 4. 診察法の種類 5. 診察の順序			
3	第2章 診察の方法	1. 医療面接			
4		2. 視診 3. 触診 4. 打診 5. 聴診 6. 測定法 7. 神経系の診察			
5					
6	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察				
7		1. 体温			
8		2. 脈拍			
9		3. 血圧 4. 呼吸			
10	第4章 全身の診察	1. 顔色・顔貌			
11		2. 精神状態			
12		3. 言語			
13		4. 身体計測			
14		5. 体型・体格			
15		6. 栄養状態			
		7. 姿勢と体位			
		8. 歩行			
		9. 皮膚、粘膜、皮下組織			
		10. 爪の状態			
		11. リンパ節			
		12. その他の一般的状態			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	臨床医学各論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床を行う上で必要な西洋医学的疾患について学習する。				
到達目標	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として知っておかなければならない疾患について、概念・原因・症状・検査法・治療法、予後などを理解し、説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『臨床医学各論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第2章 消化器疾患	A. 口腔疾患			
2		B. 食道疾患			
3		C. 胃・十二指腸疾患			
4		D. 腸疾患			
5		E. 腹膜疾患			
6	第3章 肝・胆・膵疾患	A. 肝臓疾患			
7		B. 胆道疾患			
8		C. 膵臓疾患			
9					
10					
11	第4章 呼吸器疾患	A. 感染性呼吸器疾患			
12		B. 閉塞性呼吸器疾患			
13		C. 拘束性呼吸器疾患			
14		D. その他の呼吸器疾患			
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	臨床医学各論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	池田弘明	実務経験	有	時間数	60
学修内容	はり・きゅう臨床を行ううえで必要な西洋医学的疾患について学習する。				
到達目標	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として知っておかなければならない疾患について、概念・原因・症状・検査法・治療法、予後などを理解し、説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『臨床医学各論』『医歯薬出版株式会社』 スライドレジメ				
留意点	映写機器の設置をすること。 小テストは1週間毎に行う。 できるだけこまめに復習をすること。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2	第6章 内分泌疾患	A. 下垂体疾患 B. 甲状腺疾患 C. 副腎疾患			
3・4					
5・6					
7・8					
9・10					
11・12	第7章 代謝・栄養疾患	A. 糖代謝異常 B. 脂質代謝異常 C. 尿酸代謝異常 D. その他の代謝異常			
13・14					
15・16					
17・18					
19・20					
21・22	第8章 整形外科疾患	A. 総論 B. 関節疾患 C. 骨代謝性疾患・骨腫瘍 D. 筋・腱疾患 E. 形態異常 F. 脊椎疾患 G. 脊髄損傷 H. 外傷 I. その他の整形外科疾患			
23・24					
25・26					
27・28					
29・30					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科				
		対象学年	2	学 期	前期		
科目名	経絡経穴概論Ⅲ	科目の別	講義	単位数	1		
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30		
学修内容	一経一経もしくは一穴一穴の重要性を学び、はり・きゅう臨床で活用できるように学習する。						
到達目標	経絡経穴の名称、属性、取り方、更には解剖学的部位を覚え、経穴名から部位を、部位から経穴名を導き出すことができる。						
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・小テスト・定期試験等で行う						
使用テキスト等	『経絡経穴概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] プリント						
留意点							
授業計画							
回数	大項目	中項目					
1	第2章 経脈・経穴(穴性を含む)	Ⅱ. 十四経脈とその経穴	9. 手の厥陰心包経				
2							
3							
4			10. 手の少陽三焦経				
5							
6			11. 足の少陽胆経				
7							
8			12. 足の厥陰肝経				
9							
10			Ⅲ. 奇経八脈				
11						経絡病証 十二経脈の病証	
12						経絡病証 奇経八脈の病証	
13			Ⅳ. 奇 穴				
14							
15	第3章 経絡・経穴の現代的な研究	1. 現代医学的意義と現代医学的研究 2. 関連する反応点・反応帯と施術					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	東洋医学臨床概論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	坂本幹男	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床で必要となる疾患の病態を東洋医学的に推測できるように学習する。				
到達目標	五臓六腑の生理作用と失調、東洋医学的四診法を理解し東洋医学的な病証で説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』(医歯薬出版株式会社) オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第4章 四 診		I. II. III. IV. V. 舌 診 I. 問診の進め方 / II. 主訴 III. 基本的問診事項 IV. その他の問診事項 I. 反 応 II. 腹 診 III. 切 経 / IV. 経穴診 V. 脉 診		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	東洋医学臨床概論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	坂本幹男	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床で必要となる疾患の病態を東洋医学的に推測できるように学習する。				
到達目標	五臓六腑の生理作用と失調、東洋医学的な四診法を用いて病証を判断し治療方針をたてることができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』(医歯薬出版株式会社) オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第5章 弁証論治	第1節 弁 証 第2節 論 治 第3節 弁証論治の進め方と証の決定	I. 弁証方法 II. 標本・主客 I. 治 則 II. 治 法 III. 治療法の概要 I. 弁証の進め方		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	2	学 期	前期
科目名	検査学概論	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	村松篤	実務経験	有	時間数	30
学修内容	現代医学の診察及び治療に関する情報を検査法を通して得ることができるように学習する。				
到達目標	ROM、MMT,徒手検査、神経学的検査の方法と評価を覚え、実際に行える。 身体各部の診察手順と評価を理解し説明と行動ができる。				
成績評価	定期試験を100点満点で評価し60点以上を合格とする。				
使用テキスト等	『臨床医学総論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] 『問診・診察ハンドブック』[医道の日本社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第6章 神経系の診察法	1. 感覚検査法			
2		2. 反射検査			
3		3. 脳神経系の検査 4. 髄膜刺激症状検査 5. その他の検査 ※高次脳検査			
4	第7章 運動機能検査	1. 運動麻痺			
5		2. 筋肉の異常			
6		3. 不随意運動			
7		4. 協調運動 5. 起立と歩行 6. 関節可動域検査 7. 徒手筋力検査法 8. 日常生活動作 9. 徒手による整形外科的検査法			
8	第9章 臨床検査法	1. 一般検査			
9					
10		2. 血液生化学検査			
11					
12		3. 生理学的検査および画像診断の概要			
13	第12章 臨床心理	1. 患者の心理			
14		2. 心理学的検査・評価方法			
15		3. カウセリング 4. その他の療法			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科			
		対象学年	2	学 期	通年	
科目名	東洋総合演習S-I	科目の別	演習	単位数	1	
担当教員	清水洋二	実務経験	有	時間数	30	
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として、基礎力・応用力を身につけつつボランティア活動に参加し多種多様多方面で活躍出来るようにする。					
到達目標	人体解剖実習に参加し実際の人体を用いて人体の構造と名称を説明できる。 基礎医学実習に参加し人体の働きや作用をまとめることができる。 救命救急の講習に参加し救急処置の行動ができる。					
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席状況・レポート・効果測定で行う。					
使用テキスト等	プリント レジメ					
留意点	通年科目である。 発表される実施要項をしっかりと確認すること。					
授業計画						
回数	大項目	中項目				
1						
2						
3						
4						
5						
6						① 人体解剖見学(日程等は後日発表)
7						② 基礎医学実習(日程等は後日発表)
8						③ 生体制御学会(日程等は後日発表)
9						④ 校内発表大会(日程等は後日発表)
10						⑤ AED講習(日程等は後日発表)
11						⑥ 臨床実習前試験(日程等は後日発表)
12						
13						
14						
15						

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	臨床医学総論Ⅲ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	川瀬有美子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床に必要な病態の鑑別法やその病態に至る過程について学習する。				
到達目標	患者から得られる、問診・身体診察・症状・所見などの評価を理解し、どこにどのような病態が生じているか判断できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『臨床医学総論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第7章 運動機能検査	1. 運動麻痺			
2		2. 筋肉の異常			
3		3. 不随運動 4. 共調運動 5. 起立と歩行 ※6～9は、リハビリと臨床入門に委ねる。			
4	第8章 その他の診察	1. 救急時の診察			
5		2. 女性の診察			
6		3. 小児の診察 4. 高齢者の診察			
7	第10章 おもな症状の診察法	11. 動悸、17. 不正期出血、			
8		19. 乏尿・無尿、20. 多尿 21. 浮腫、27. 関節痛			
9		38. 出血傾向、39. 易感染症 41. 眼振、45. 血痰・咯血 ※上記以外の項目は、按摩・鍼灸臨床論に委ねる			
10	第11章 治療学	1. 概 要			
11		2. 薬物療法			
12		3. 食事療法 4. 理学療法 5. その他の療法			
13	第12章 臨床心理	1. 患者の心理			
14		2. 心理学的検査・評価方法			
15		3. カウンセリング 4. その他の療法			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	衛生学・公衆衛生学 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	家入志帆	実務経験	有	時間数	30
学修内容	個人および集団の健康を対象とした予防医学、環境の改善、生活水準の保障、健康教育の推進について学習する。				
到達目標	最新の国民動向の把握と、医療従事者としての衛生管理を理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	衛生学・公衆衛生学〔医歯薬出版株式会社〕 配付プリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 衛生学・公衆衛生学の意義	1. 衛生学・公衆衛生学とは 2. 衛生学・公衆衛生学の歴史 3. 衛生学・公衆衛生学の活動と意義			
2					
3					
4	第2章 健 康	1. 健康の概要 2. 健康管理			
5					
6					
7	第3章 ライフスタイルと健康	1. 食品と栄養 2. 運動と健康			
8					
9					
10	第4章 環境と健康	1. 環境とは 2. 日常生活環境 3. 環境問題			
11					
12	第5章 産業保健	1. 産業保健の意義、 2. 労働衛生行政 3. 労働環境と健康 4. 労働災害とその対策 5. 業務上疾病とその対策			
13					
14	第6章 精神保健	1. 精神保健の意義 2. 精神の保健 3. 精神障害の現状			
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	関係法規	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	古橋一人	実務経験	有	時間数	30
学修内容	法が何かからあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律そして医事法規と医療制度について学習する。				
到達目標	特に我々に深く関連するあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律について知る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、学期末試験・出席点で行う。				
使用テキスト等	『関係法規』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] 参考プリント				
留意点	国家試験に出題される科目なので要点をしっかりと理解して下さい。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	序 論 法とは何か	1. 法の意義 2. 法の体系			
2					
3	第1章 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律	1. 法制定の目的 2. 免許と試験 3. 業 務 4. 学校、養成施設 5. 指定試験(登録)機関 6. 審議会及び試験委員 7. 罰 則			
4					
5					
6					
7					
8					
9	第2章 関係法規	1. 医事法規と医療制度 2. 医療法 3. 医師法(歯科医師法) 4. その他の医療従事者に関する法律 5. 薬事法規 6. 衛生関係法規 7. 社会福祉関係法規 8. 社会保険関係法規 9. その他の関係法規 〔付録1〕 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法制度の沿革 〔付録2〕 法令等			
10					
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	はり・きゅう理論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	加藤俊亮	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅうの基礎知識・臨床応用・リスク管理・EBM・治効理論・関連学説などを学習する。				
到達目標	はり・きゅう臨床を実践する際に必要な、治効理論やEBM、リスク管理等を説明する事が出来る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、課題提出・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『はりきゅう理論』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕				
留意点	解剖学、生理学、病理学の知識が必要となるので復習をしておくこと。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 概論	1. 鍼灸施術の意義 2. 鍼灸治療の特徴			
2	第2章 鍼の基礎知識	1. 用具—鍼と鍼管 2. 古代九鍼			
3	第3章 刺鍼の方式と術式	1. 刺鍼の方式 2. 刺鍼の術式			
4	第4章 特殊鍼法				
5	第5章 灸の基礎知識	1. 灸の材料 2. 線香			
6	第6章 灸術の種類	1. 有痕灸 2. 無痕灸			
7	第7章 鍼灸の臨床応用	1. 刺激量 2. 感受性			
8		3. 鍼灸療法の適応症 4. 鍼灸療法の禁忌			
9	第8章 リスク管理	1. リスク管理の基本 2. 鍼療法の過誤と副作用			
10		3. 灸療法の過誤と副作用 4. 感染症対策			
11	第9章 鍼灸治効の基礎	1. 痛みの感覚と受容と伝導			
12		2. 温度感覚の受容と伝達			
13		3. 触圧感覚の受容と伝達			
14		4. 筋の伸張刺激および筋の振動の受容と伝導			
15		5. 鍼灸刺激と反射 6. 鍼鎮痛 7. 刺激と反応			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	はり・きゅう臨床論 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	平松希望	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床で必要となる疾患の病態を現代医学的・東洋医学的に把握でき、治療方針を導き臨床で活かせるように学習する。				
到達目標	東洋医学的弁証ができる。 症状所見と疾患の関係性が理解できる。 治療方針がたてられ、治療部位・治療穴が選択できる。				
成績評価	小テスト・学期末試験を100点満点で評価し60点以上を合格とする。				
使用テキスト等	『東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 『新版 経絡経穴概論』日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会編〔医道の日本社〕 『新版 東洋医学概論』東洋療法学校協会編〔医道の日本社〕				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 治療総論	1. 現代医学的な考え方			
2		2. 東洋医学的な考え方			
3	第2章 治療各論	1. 健康医学としての鍼灸療法 2. 主要症候に対する鍼灸療法 ※「現代医学的の考え方」は、臨床医学総論の第10章「おもな症状の診察法」を参照	1) 頭 痛		
4			2) 顔面痛		
5			3) 顔面麻痺		
6			4) 歯 痛		
7			5) 眼精疲労		
8			6) 鼻閉・鼻汁		
9			7) 脱毛症		
10			8) めまい		
11			9) 耳鳴りと難聴		
12			10) 咳 嗽、11) 喘息、		
13			12) 胸痛		
14			13) 腹痛		
15			14) 悪心と嘔吐		
			15) 便秘と下痢		

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	臨床治療学 I	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	池田弘明	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧臨床において、東洋医学的な病態把握から治療穴の選穴までできるように学習する。				
到達目標	各経穴の穴性を理解し説明できる。 症状・所見から、八綱弁証・臟腑弁証・気血津液弁証がたてられる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』『医歯薬出版株式会社』 『東洋医学臨床論(はりきゅう編)』『医道の日本社』 オリジナルプリント				
留意点	わからないことがあれば積極的に質問をしてください。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 弁証論治	1. 弁証論治			
2		2. 八綱弁証			
3		3. 気血津液弁証			
4	第2章 経穴総論	1. 経穴の作用			
5		2. 選穴方			
6		3. 配穴法			
7	第3章 経穴各論	1. 手太陰肺経 中府、尺沢、列欠、太淵、少商			
8					
9					
10		2. 手陽明大腸経 合谷、曲池、肩髃、迎香			
11					
12		3. 足陽明胃経 承泣、頬車、下関、梁門、天枢、 帰来、足三里、上巨虚、豊隆、 解溪、内庭			
13					
14					
15		4. 足太陰脾経 太白、公孫、三陰交、陰陵泉、血海			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	前期
科目名	課題研究Ⅱ	科目の別	演習	単位数	2
担当教員	高柳好博	実務経験	有	時間数	60
学修内容	基礎実験や臨床実験、文献検索などを行い、実験結果や、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の効果の認識をまとめ、自分たちなりの表現で発表し論文作成ができるように学習する。				
到達目標	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧に関する研究を行い、PowerPointにて研究発表を行い、Wordにて論文の作成が出来る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・論文内容・プレゼンテーション等で総合的に評価する。				
使用テキスト等	配付プリント				
留意点	書庫、特別教室、実技実習室を使用する場合、学校備品を使用する場合は、担当教員の許可を得ること。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2	オリエンテーション				
3・4	実験(調査)の開始				
5・6					
7・8					
9・10					
11・12					
13・14	実験(調査)の集計、検証				
15・16					
17・18					
19・20	発表デザインの作成、 卒業論文の作成				
21・22					
23・24					
25・26	10月 校内研究発表大会 卒業論文提出				
27・28					
29・30					

專科 後期

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	心理学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	石田ユミ	実務経験	無	時間数	30
学修内容	心理学を学ぶことにより、人への深い理解をもつことができるように学習する。				
到達目標	心理学の視点から、人について学び、精神疾患・スポーツ心理学・身体心理学・治療者としての基本的姿勢がとれる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	オリジナルプリント(レジメ)を配布する。				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	コミュニケーション技法Ⅱ(グループワーク)				
2	スポーツ心理学Ⅰ:概要				
3	スポーツ心理学Ⅱ:メンタルトレーニング				
4	うつ病障害と双極性障害				
5	統合失調症スペクトラム				
6	不安障害				
7	強迫関連障害				
8	ドメスティック・バイオレンス・性暴力				
9	外傷後ストレス障害・解離性障害				
10	身体関連障害				
11	パーソナリティ障害				
12	物質関連及び嗜癖障害				
13	身体心理学				
14	コミュニケーション技法Ⅲ(グループワーク)				
15	まとめ・テスト前練習問題・解説				

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科			
		対象学年	1	学 期	後期	
科目名	保健概論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	2	
担当教員	丸畑仁美	実務経験	有	時間数	30	
学修内容	人体について学び、解剖学や生理学などの専門基礎科目へ発展させることができるように学習する。					
到達目標	人体を構成する名称や部位、そして構造や働きを理解し説明できる。					
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。					
使用テキスト等	楽しくわかる生物化学物理、わかる身につく生物生化学分子生物学、人体解剖カラーリングブック『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕					
留意点						
授業計画						
回数	大項目	中項目				
1	解剖学(筋系)					
2						
3						
4			上肢 上肢帯の筋			
5			上腕の筋			
6			前腕の筋			
7			手部の筋			
8			内・外寛骨筋			
9			大腿の筋			
10			下腿の筋			
11			頭顔面部の筋			
12			頸部・上背部の筋			
13						
14						
15						

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	統計学	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	平松裕紀子	実務経験	無	時間数	30
学修内容	確率統計学は社会科学や経済学、自然科学、学問の諸分野と密接な関連をもっており情報化社会生活には欠かせない学問であり、それらの情報を処理し確率と統計を見出すことができるように学習する。				
到達目標	与えられたデータの見方・とらえ方・整理の仕方を理解し、集団の特徴を分析することができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とし、評価方法は、出席・定期試験・課題レポートをもって総合的に評価をする。				
使用テキスト等	「社会科学系学生のための統計学」(共立出版株式会社) オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第1章 確立統計の基本概念				
2	第2章 データの処理	(1)母集団と標本			
3		(2)データの整理			
4		(3)データの特性値			
5		(4)プリント学習			
6	第5章 連続型分布	(1)正規分布			
7		(2)正規分布			
8		(3)教科書以外の正規分布に関する問題			
9		(4)四分範囲と箱ひげ図			
10					
11	第10章 検定	(1)検定の手順			
12		(2)平均の検定			
13		(3)平均の差の検定			
14		(4)差の平均の検定			
15		(5)試験対策プリントで学習			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	英語Ⅱ	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	諸岡淳子	実務経験	無	時間数	30
学修内容	現代医療の現場では、医療用語を英語で表現することが多く見受けられ、当然、はりきゅうあん摩マッサージ指圧の現場においても例外ではない。医療現場において英語表記されたものを理解できるように学習する。				
到達目標	はりきゅうあん摩マッサージ師に必要な医療英語を日本語から英語、英語から日本にでき、英和・和英ともに医療英語の理解と表現ができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・提出課題・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学で英語を学ぶ』(医歯薬出版株式会社) オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	前後の筋肉名と発音記号の説明				
2	筋肉の役割と名称の説明				
3	筋肉の問題				
4	筋肉の問題				
5	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter3の英文読解				
6	運動の方向と位置の説明				
7	患者別の痛みの表現				
8	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter15の英文読解				
9	「東洋医学で英語を学ぶ」よりchapter15の英文読解				
10	医療英会話				
11	医療英会話				
12	英文プリント				
13	英文プリント				
14	後期のまとめ学習				
15	試験対策プリントを渡し答え合わせ				

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	解剖学Ⅲ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	古橋一人	実務経験	有	時間数	30
学修内容	人体の末梢神経について学習する。また、人体の感覚器系について学習する。				
到達目標	教科書の太文字を中心に理解する。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、学期末試験・出席点・平常点で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 オリジナルプリント				
留意点	国家試験に出題される科目なので要点をしっかりと理解して下さい。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第8章 神経系	3. 伝導路			
2					
3					
4					
5					
6		4. 末梢神経			
7					
8					
9					
10					
11	第9章 感覚器系	1. 視覚器			
12					
13		2. 平衡聴覚器			
14					
15			3. 味覚器 4. 嗅覚器		

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	解剖学Ⅳ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	佐竹裕孝	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師臨床に必要な人体の構造解剖と機能解剖の知識を習得し、臨床に活用できるように学習する。				
到達目標	内臓の構造と名称が理解できる。 脈管・神経の走行と名称が理解できる。 臓器・神経・脈管の働きが理解できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 オリジナルプリント				
留意点	単元の終了ごとに小テストを実施する。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第4章 消化器系	1. 消化管の基本構造 2. 口腔 3. 咽頭 4. 食道 5. 胃 6. 小腸 7. 大腸 8. 肝臓 9. 胆嚢 10. 膵臓 11. 腹膜			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9	第5章 泌尿器系	1. 腎臓			
10		2. 尿路			
11	第6章 生殖器	1. 男性生殖器 2. 女性生殖器 3. 受精と発生			
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	生理学Ⅲ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	小野健治	実務経験	無	時間数	30
学修内容	組織・器官・内分泌系などがどのように働き、人体に作用しているかを学習する。				
到達目標	人体の細胞・組織・内蔵などの基本な機能と作用、関連性について理解し、また骨・筋・神経から人体の運動器の働きや関連性について理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『生理学』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第11章 筋	A. 骨格筋の構造と働き			
2		B. 筋の収縮の仕組み			
3		C. 筋のエネルギー供給の仕組み			
4		D. 心筋と平滑筋			
5					
6	第12章 運動	A. 骨格筋の神経支配			
7		B. 運動の調節			
8		C. 錐体路系と錐体外路系			
9		D. 発声と言語			
10					
11	第13章 感覚	A. 感覚の分類と一般的性質			
12		B. 体性感覚			
13		C. 内臓感覚			
14		D. 痛 覚			
15		E. 味覚と嗅覚			
		F. 聴 覚			
		G. 平衡感覚			
		H. 視 覚			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	生理学Ⅳ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	組織・器官・内分泌系などがどのように働き、人体に作用しているかを学習する。				
到達目標	人体の細胞・組織・内蔵などの基本な機能と作用、関連性について理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『生理学』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第6章 体温	A. 体温調節			
2		B. 体熱の産生と放散 C. 発汗とその調節 D. 体温調節障害			
3	第7章 排泄	A. 腎臓の働き			
4		B. 腎循環			
5		C. 尿生成			
6		D. 尿生成と体液の調節			
7		E. 蓄尿と排尿			
8	第8章 内分泌				
9		A. ホルモンの特徴			
10		B. ホルモンの種類と働き			
11					
12	第9章 生殖・成長と老化	A. 生殖			
13		B. 妊娠と出産 C. 成長 D. 老化			
14	第15章 身体活動の協調	A. 順応と適応			
15		B. 恒常性維持 C. バイオリズム			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	東洋医学基礎概論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	川瀬有美子	実務経験	有	時間数	60
学修内容	はり・きゅう師として東洋医学の知識と志を得て、東洋医学臨床論へ繋げ、東洋医学的臨床ができるように学習する。				
到達目標	東洋医学の用語を理解し説明できる。 東洋医学の特徴と考えを理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2	第2章 生理と病理	第2節 蔵 象 第3節 経 絡 第4節 病因病機	II. 五臓とその機能に関連した領域 1)肝(肝系統) 2)心(心系統) 3)脾(脾系統) 4)肺(肺系統) 5)腎(腎系統) 6)三焦 III. 五臓の相互関係 IV. 六腑の協調関係 V. 全身の気機 I. 経絡の概念／II. 経絡の機能／III. 経絡の構成 III. 経絡の構成 IV. 経絡の病理 I. 病 因 II. 病 機		
3・4					
5・6					
7・8					
9・10					
11・12					
13・14					
15・16					
17・18					
19・20					
21・22					
23・24					
25・26					
27・28					
29・30					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1	学 期	後期
科目名	経絡経穴概論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	一経一経もしくは一穴一穴の重要性を学び、はり・きゅう臨床で活用できるように学習する。				
到達目標	経絡経穴の名称、属性、取り方、更には解剖学的部位を覚え、経穴名から部位を、部位から経穴名を導き出すことができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・小テスト・定期試験等で行う				
使用テキスト等	『経絡経穴概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社]				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第2章 経脈・経穴(穴性を含む)	Ⅱ. 十四経脈とその経穴			
2			5. 足の陽明胃経		
3					
4					
5			6. 足の太陰脾経		
6					
7			7. 手の少陰心経		
8			8. 手の太陰小腸経		
9					
10					
11			9. 足の太陽膀胱経		
12					
13					
14			10. 足の少陰腎経		
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	運動学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	中本湖琴	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅうの臨床で必要とされる筋肉・関節の運動を理解し正常を知る事で異常を学習する。				
到達目標	正常を知るために身体の構造・機能を知り理解をして異常運動の違いを理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『解剖学』『リハビリテーション概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] 配付プリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	10-Ⅲ. 体幹（解剖学） B. 身体各部の機能(リハ概)	1. 体幹の筋			
2		2. 体幹の運動			
3		3. 体幹の局所解剖			
4	10-Ⅳ. 上肢（解剖学） B. 身体各部の機能(リハ概)	1. 上肢の筋			
5		2. 上肢の運動			
6					
7		3. 上肢の局所解剖			
8					
9	10-Ⅴ. 下肢（解剖学） B. 身体各部の機能(リハ概)	1. 下肢の筋			
10		2. 下肢の運動 (正常歩行と異常歩行を含む)			
11					
12					
13		3. 下肢の局所解剖			
14	10-Ⅵ. 頭頸部（解剖学） B. 身体各部の機能(リハ概)	1. 頭頸部の筋			
15		2. 頭頸部の体表および局所解剖			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	病理学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	清水洋二	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として、知っておかなければならない疾病を分子レベルから個体レベルまでの変化を学習する。				
到達目標	各疾病の原因や形態、機能、代謝、炎症、腫瘍など生体変化を理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『病理学概論』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第7章 炎症	1. 炎症の一般 2. 炎症の分類			
2					
3					
4					
5	第8章 腫瘍	1. 腫瘍の一般 2. 良性腫瘍 3. 悪性腫瘍			
6					
7					
8					
9	第9章 免疫異常・アレルギー	1. 液性免疫と細胞性免疫 2. アレルギー 3. 免疫不全 4. 自己免疫異常			
10					
11					
12					
13	第10章 先天性異常	1. 先天性異常総論 2. 遺伝性疾患 3. 染色体異常			
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	臨床医学総論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	加藤由衣	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧臨床に必要な鑑別法や施術に関する知識を学び患者の病態を推測し、対応できるように学習する。				
到達目標	患者から得られる、問診・身体診察・症状・所見などの評価を理解し、どこにどのような病態が生じているかを判断できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『臨床医学総論』[医歯薬出版株式会社] オリジナルプリント				
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の基礎(解剖学・生理学)がもとになるので、復習が大切です。 ・関連科目は、臨床医学各論、病理学等です。 				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第5章 局所の診察	1. 頭 部			
2		2. 顔 面			
3		3. 眼			
4		4. 鼻			
5		5. 耳			
6		6. 口腔			
7	第8章 その他の診察	7. 頸 部			
8		8. 胸 部			
9		9. 乳 房			
10		10. 肺・胸膜			
11	第10章 おもな症状の診察法	11. 心 臓			
12		12. 腹 部			
13		13. 背 部			
14		14. 四 肢			
15	第11章 治療学	1. 救急時の診察			
16		2. 女性の診察			
17		3. 小児の診察			
18		4. 高齢者の診察			
19		11. 動悸、17. 不正期出血、 19. 乏尿・無尿、20. 多尿、 21. 浮腫、27. 関節痛、 38. 出血傾向、39. 易感染症、 41. 眼振、45. 血痰・咯血 ※上記以外の項目は、按摩・鍼灸臨床論に委ねる			
20	第11章 治療学	1. 概 要			
21		2. 薬物療法			
22		3. 食事療法			
23	第11章 治療学	4. 理学療法			
24		5. その他の療法			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	臨床医学各論Ⅲ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床を行う上で必要な西洋医学的疾患について学習する。				
到達目標	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として知っておかなければならない疾患について、概念・原因・症状・検査法・治療法、予後などを理解し、説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第5章 腎・尿器疾患	A. 原発性糸球体腎炎 B. 腎不全 C. 感染症 D. 腫瘍性疾患 E. 結石症 F. 前立腺疾患			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9	第11章 神経疾患	A. 脳血管疾患 B. 感染性疾患 C. 脳・脊髄腫瘍 D. 基底核変性疾患 E. その他の変性疾患 F. 認知症(痴呆)性疾患 G. 筋疾患 H. 運動ニューロン疾患 I. 末梢神経性疾患 J. 神経痛 K. 機能的疾患			
10					
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	臨床医学各論IV	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	池田弘明	実務経験	有	時間数	60
学修内容	はり・きゅう臨床を行ううえで必要な西洋医学的疾患について学習する。				
到達目標	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師として知っておかなければならない疾患について、概念・原因・症状・検査法・治療法、予後などを理解し、説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『臨床医学各論』『医歯薬出版株式会社』 スライドレジメ				
留意点	映写機器の設置をすること。 小テストは1週間毎に行う。 できるだけこまめに復習をすること。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2	第1章 感染症	A. 総論 B. 細菌感染症 C. ウイルス感染症 D. 性感染症			
3・4					
5・6					
7・8	第9章 循環器疾患	A. 心臓疾患 B. 冠動脈疾患 C. 動脈疾患 D. 血圧異常			
9・10					
11・12					
13・14					
15・16	第10章 血液・造血器疾患	A. 赤血球疾患 B. 白血球疾患 C. リンパ網内性疾患 D. 出血性素因			
17・18					
19・20	第12章 リウマチ性疾患・膠原病	A. リウマチ性疾患 B. 膠原病			
21・22					
23・24	第13章 その他の領域	A. 小児科疾患 B. 一般外科 C. 麻酔科 D. 婦人科疾患 E. 皮膚科疾患 F. 眼科疾患 G. 耳鼻科疾患 H. 精神科疾患、I. 心療内科			
25・26					
27・28					
29・30					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	経絡経穴概論IV	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	吉田和生	実務経験	有	時間数	30
学修内容	一経一経もしくは一穴一穴の重要性を学び、はり・きゅう臨床で活用できるように学習する。				
到達目標	経絡経穴の名称、属性、取り方、更には解剖学的部位を覚え、経穴名から部位を、部位から経穴名を導き出すことができる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・小テスト・定期試験等で行う				
使用テキスト等	『経絡経穴概論』東洋療法学校協会編[医歯薬出版株式会社] プリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	1 全身の筋と経穴	頭部、頸部			
2		体幹①			
3		体幹②			
4		上肢①前腕前面			
5		上肢②前腕後面			
6		上肢③上腕部			
7		下肢①臀部、大腿前面、大腿外側			
8		下肢②大腿内側、大腿後面			
9		下肢③下腿前面、下腿後面			
10	2, 神経支配領域と経穴	デルマトーム(皮膚分節) 顔面、上肢の皮神経			
11		下肢の皮神経			
12	3, 神経の走行上の経穴	神経走行(上肢) 神経走行(下肢)、その他			
13	4, 血管走行上の経穴	動脈拍動部上の経穴・深部に走行する血管(頭部、頸部、体幹部、上肢、下肢)			
14	5, その他	局所解剖			
15		並ぶ経穴			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	東洋医学臨床論 I	科目の別	講義	単位数	2
担当教員	坂本幹男	実務経験	有	時間数	60
学修内容	はり・きゅう臨床に必要となる東洋医学的治療に関する知識を学習する。				
到達目標	患者から得られる所見から、東洋医学医学的な病態把握をしました東洋医学的な治療計画を作成し、それを実施できる為の知識を理解し説明する事が出来る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、出席・授業態度・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』(医歯薬出版株式会社) 『東洋医学臨床論(はりきゅう編)』(医道の日本社) オリジナルプリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2	第1章 治療総論	2. 東洋医学的な考え方	弁証の進め方 四診について 弁証論治 八綱病証① 八綱病証② 気血津液弁証① 気血津液弁証② 臓腑弁証① 臓腑弁証② 臓腑弁証③ 臓腑弁証④ 臓腑弁証⑤ 臓腑弁証⑥ 弁証応用①(複数臓腑、経絡) 弁証応用②(複数臓腑、経絡) 治則と治法① 治則と治法②		
3・4					
5・6					
7・8					
9・10					
11・12					
13・14					
15・16					
17・18	第2章 治療各論	2. 主要症候に対する鍼灸療法 ※「東洋医学的な考え方」のみ	1)頭痛、2)顔面痛 3)顔面麻痺、4)歯痛 5)眼精疲労 6)鼻閉・鼻汁 7)脱毛症 8)めまい、9)耳鳴り・難聴 10)咳嗽、11)喘息 12)胸痛 13)腹痛、14)悪心と嘔吐 15)便秘と下痢 16)月経異常 17)排尿障害 18)ED		
19・20					
21・22					
23・24					
25・26					
27・28					
29・30					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2	学 期	後期
科目名	課題研究 I	科目の別	演習	単位数	1
担当教員	高柳好博	実務経験	有	時間数	30
学修内容	基礎実験や臨床実験等の文献検索、実験計画作成、など研究発表に関与する内容について学習する。				
到達目標	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧に関する研究計画を作成し、研究を開始する事が出来る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、授業態度・レポート・プレゼンテーション等で総合的に評価する。				
使用テキスト等	配付プリント				
留意点	書庫、特別教室、実技実習室を使用する場合、学校備品を使用する場合は、担当教員の許可を得ること。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	オリエンテーション・グループ作成				
2	テーマ設定、文献検索				
3					
4					
5					
6					
7					
8	予備実験(調査)				
9					
10					
11					
12	進捗具合のレポート提出				
13	作業仮説の検証、テーマの修正				
14					
15	テーマ決定				

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	3	学 期	後期
科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	家入志帆	実務経験	有	時間数	30
学修内容	個人および集団の健康を対象とした予防医学、環境の改善、生活水準の保障、健康教育の推進について学習する。				
到達目標	最新の国民動向の把握と、医療従事者としての衛生管理を理解し説明できる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、小テスト・定期試験で行う。				
使用テキスト等	衛生学・公衆衛生学〔医歯薬出版株式会社〕 配付プリント				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第7章 母子保健	1. 母子保健の意義			
2		2. 母体の保健			
3		3. 乳幼児の健康 4. 母体保護と家族計画 5. 少子化問題と子育て支援			
4	第8章 成人・高齢者保健	1. 成人・高齢者保健の意義			
5		2. 加齢と老化			
6		3. 生活習慣病の特徴と対策 4. 老人保健福祉対策 5. 介護保険 6. 難病対策の現状			
7	第9章 感染症とその対策	1. 感染症の意義と種類			
8		2. 発生要因 3. 感染症予防の原則 4. 免 疫			
9	第10章 消毒法	1. 消毒法一般			
10		2. 消毒の種類 3. 消毒の実際 4. 医療廃棄物			
11	第11章 疫 学	1. 疫学概念と意義—病気の流行			
12		2. 疾病の頻度と測定			
13		3. 疫学調査研究の段階と実例			
14	第12章 保健統計	1. 保健統計の意義			
15		2. おもな保健統計とその意義 3. 主要な保健統計指標			

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	後期
科目名	はり・きゅう理論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	加藤俊亮	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅうの基礎知識・臨床応用・リスク管理・EBM・治効理論・関連学説などを学習する。				
到達目標	はり・きゅう臨床を実践する際に必要な、治効理論やEBM、リスク管理等を説明する事が出来る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、課題提出・定期試験で行う。				
使用テキスト等	『はりきゅう理論』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕				
留意点	解剖学、生理学、病理学の知識が必要となるので復習をしておくこと。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第10章 鍼灸療法の一般治効理論	1. はじめに 2. 自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響 3. 生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響 4. 鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	第11章 関連学説	1. サイバネティックスの学説 2. ホメオスターシス 3. 汎適応症候群の学説（ストレス学説） 4. 過剰刺激症候群の学説（レイリー現象） 5. 圧発汗反射の学説			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	後期
科目名	はり・きゅう臨床論Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	平松希望	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう臨床で必要となる疾患の病態を現代医学的・東洋医学的に把握でき、治療方針を導き臨床で活かせるように学習する。				
到達目標	東洋医学的弁証ができる。 症状所見と疾患の関係性が理解できる。 治療方針がたてられ、治療部位・治療穴が選択できる。				
成績評価	小テスト・学期末試験を100点満点で評価し60点以上を合格とする。				
使用テキスト等	『東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 『新版 経絡経穴概論』日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会編〔医道の日本社〕 『新版 東洋医学概論』東洋療法学校協会編〔医道の日本社〕				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第2章 治療各論	2. 主要症候に対する鍼灸療法 ※「現代医学の考え方」は、 臨床医学総論の第10章「おもな 症状の診察法」を参照	16)月経異常		
2			17)排尿障害		
3			18)インポテンツ		
4			19)肩こり		
5			20)頸肩腕痛		
6			21)肩関節痛		
7			22)上肢痛		
8			23)腰下肢痛		
9			24)膝 痛		
10			25)運動麻痺		
11			26)高血圧症		
12			27)低血圧症		
13			28)食欲不振		
14			29)肥 満		
15			30)発 熱		
			31)のぼせと冷え		

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科					
		対象学年	3	学 期	後期			
科目名	はり・きゅう臨床論Ⅲ	科目の別	講義	単位数	1			
担当教員	平松希望	実務経験	有	時間数	30			
学修内容	はり・きゅう臨床で必要となる疾患の病態を現代医学的・東洋医学的に把握でき、治療方針を導き臨床で活かせるように学習する。							
到達目標	東洋医学的弁証ができる。 症状所見と疾患の関係性が理解できる。 治療方針がたてられ、治療部位・治療穴が選択できる。							
成績評価	小テスト・学期末試験を100点満点で評価し60点以上を合格とする。							
使用テキスト等	『東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉』東洋療法学校協会編〔医歯薬出版株式会社〕 『新版 経絡経穴概論』日本理療科教員連盟 東洋療法学校協会編〔医道の日本社〕 『新版 東洋医学概論』東洋療法学校協会編〔医道の日本社〕							
留意点								
授業計画								
回数	大項目	中項目						
1		2. 主要症候に対する鍼灸療法	32)不眠					
2			33)疲労と倦怠					
3								
4						34)発疹		
5								
6			35)小児の症状					
7	第2章 治療各論	3. スポーツ医学における鍼灸療法	1)スポーツ医学の概要					
8	※「現代医学の考え方」は、 臨床医学総論の第10章 「おもな症状の診察法」を参照		2)スポーツ外傷・障害 (競技との関連)					
9								
10								
11								
12		1)老年医学の特徴						
13	4. 老年医学における鍼灸療法	2)老年者の疾患と鍼灸療法						
14								
15								

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	後期
科目名	臨床治療学Ⅱ	科目の別	講義	単位数	1
担当教員	池田弘明	実務経験	有	時間数	30
学修内容	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧臨床において、東洋医学的な病態把握から治療穴の選穴までできるように学習する。				
到達目標	各経穴の穴性を理解し説明できる。 症状・所見から、八綱弁証・臟腑弁証・気血津液弁証がたてられる。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。評価方法は、定期試験で行う。				
使用テキスト等	『東洋医学概論』『医歯薬出版株式会社』 『東洋医学臨床論(はりきゅう編)』『医道の日本社』 オリジナルプリント				
留意点	わからないことがあれば積極的に質問をしてください。				
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1	第3章 経穴各論	5. 手少陰心経 通理、神門			
2		6. 手太陽小腸経 少沢、後溪			
3		7. 足太陽膀胱経 睛明、攢竹、大杼、風門、肺兪、 心兪、膈兪、肝兪、脾兪、胃兪、 腎兪、大腸兪、次膠、委中、承山、崑崙			
4		8. 足少陰腎経 湧泉、太溪、復溜			
5		9. 手厥陰心包経 曲沢、間使、内関、大陵			
6		10. 手少陽三焦経 中渚、外関、支溝、翳風			
7		11. 足少陽胆経 聴会、風池、環跳、風市、陽陵泉、懸鍾、 丘墟			
8		12. 足厥陰肝経 行間、太衝、章門、期門			
9		13. 任 脈 中極、関元、気海、神闕、下脘、 中脘、上脘、臍中、天突、廉泉			
10		14. 督 脈 長強、命門、大椎、瘻門、百会、 人中			
11					
12					
13					
14					
15					

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3	学 期	後期
科目名	基礎医学総合演習	科目の別	演習	単位数	4
担当教員	高柳好博	実務経験	有	時間数	60
学修内容	はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師の国家試験に合格するため、3年次までに学習した各科目を統合的に学習する。				
到達目標	過去の国家試験問題や各模擬試験を基に各科目の重要な単元・出題傾向を把握する。 3年次までに学習した科目を統合的に理解し、説明する事が出来る。				
成績評価	評価は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。 評価方法は、出席状況・小テスト・学科試験・各模擬試験、提出課題等を総合的に評価する。				
使用テキスト等	各科目教科書 国家試験過去問 各模擬試験過去問				
留意点					
授業計画					
回数	大項目	中項目			
1・2					
3・4					
5・6					
7・8					
9・10					
11・12					
13・14					
15・16					
17・18					
19・20	国家試験対策				
21・22					
23・24					
25・26					
27・28					
29・30					